

そこが聞きたい

【高校野球のタイブレーク】

インタビュー

相沢 孝行氏

日本高校野球連盟
技術・振興委員長



あいざわ・たかゆき
1943年、中国・上海生まれ。大阪・八尾高
—同志社大一大丸で捕手として活躍。74年から96
年まで高校野球の審判を務め、2011年から現
職。今年6月、定年のため退任する。

硬式 次は甲子園で

日本高校野球連盟は今年の春季地区大会でタイブレーク制度①②の実施を義務づけた。導入の理由や甲子園大会でも今後採用されるのかなどについて、制度を取りまとめた同連盟技術・振興委員会の相沢孝行委員長に聞いた。

「タイブレーク以外の対策はなかったのですか。」
「タイブレーク以外の対策はなかったのですか。」

「タイブレーク以外の対策はなかったのですか。」

「タイブレーク以外の対策はなかったのですか。」

「タイブレーク以外の対策はなかったのですか。」

「延長十回が延長十三回以降、無死一、二塁から、任意の打順で始める打順選択制」というタイブレークが今夏の地区大会で導入されました。軟式は今夏の全国選手権大会で採用されます。

「選手は健康と大会のスムーズな運営、この2点が導入理由です。日本高校連はこれまで健康管理の施

「タイブレーク以外の対策はなかったのですか。」

「タイブレーク以外の対策はなかったのですか。」

「タイブレーク以外の対策はなかったのですか。」

「タイブレーク以外の対策はなかったのですか。」

「タイブレーク以外の対策はなかったのですか。」

「タイブレーク以外の対策はなかったのですか。」

「タイブレーク以外の対策はなかったのですか。」

① タイブレーク制度

規定の回で同点の場合、状態から始め、得点を入りやすくする延長戦の制度。高校野球では東日本大震災に伴う節電を受け、2011年の明治神宮大会で初めて実施された。13年から国体でも導入され、昨年は春秋の地区大会や都道府県大会で採用が可能になった。

② 選手の健康管理に関するアンケート

硬式は加盟4030校のうち3951校が回答。回答は4択で、タイブレーク導入賛成は条件付きを含めて1964校(49.7%)、「投球回数制限」が474校(12.0%)、「投球回数制限」が423校(10.7%)、現状維持を含む「その他」が1090校(27.6%)だった。

聞いて一言

制度は甲子園大会や夏の地方大会などで今後導入されるのか。それが関係者やファンの関心事だが、相沢氏は地方大会より先に甲子園大会で導入することも視野に入れている。選手の健康管理を重視し、時代の流れに合わせて改革に取り組み姿勢は評価した。延長戦の熱闘は高校野球の魅力の一つで、タイブレークを導入すれば妙味が薄れる面はあると思う。だが、点が入りやすい制度ならではの戦術や面白さもあり、名勝負も生まれるかもしれない。春季大会の検証を待ちたい。